

目次

| | |
|--|--|
| はじめに | 1 |
| | 元防衛大臣・拓殖大学顧問 森本 敏 |
| 新時代の日米中関係研究会 政策提言 | |
| ウクライナ情勢、米中対立の中で、日本の外交・安全保障戦略及び 対外経済政策はどうあるべきか | 6 |
| 座談会 米中対立の深刻化の中で、台湾統一に備えて 日本はどう対応すべきか? | 24 |
| | 国際経済研究所研究部主席研究員 伊藤信悟 東京大学東洋文化研究所教授 松田康博 元防衛大臣・拓殖大学顧問 森本 敏 一般財団法人国際経済交流財団会長 豊田正和 |
| 序 章 台湾危機を巡る日本の外交・安全保障戦略及び対外経済戦略 | 57 |
| | 元防衛大臣・拓殖大学顧問 森本 敏 |
| 第1章 ウクライナ情勢の展開と世界の安全保障情勢 | 68 |
| | 笹川平和財団上席フェロー 小原凡司 |
| 第2章 コロナ禍後期中台関係——拡大する硬軟両様手段の矛盾 | 86 |
| | 東京大学東洋文化研究所教授 松田康博 |
| 第3章 中国外交の新段階 ——ロシア＝ウクライナ戦争の中でのアメリカとの対抗 | 99 |
| | 九州大学大学院比較社会文化研究院教授 益尾知佐子 |
| 第4章 習近平第3次政権の内政が日米中関係に与える影響と 台湾有事への示唆 | 113 |
| | トランス・パシフィック・グループ研究所長 加藤嘉一 |

| | | |
|-----------|---------------------------------|-----|
| 第5章 | 地政学的影響力の背景としての中国経済の展望 | 126 |
| | 研究会事務局 | |
| 第6章 | アメリカ政権の変化が及ぼす米中関係への影響 | 138 |
| | 東京大学東洋文化研究所准教授 佐橋 亮 | |
| 第7章 | 台湾危機事態のシナリオと日本の防衛 | 148 |
| | 日本宇宙安全保障研究所会長・元防衛大臣・拓殖大学顧問 森本 敏 | |
| | 日本宇宙安全保障研究所理事 長島 純 | |
| 第8章 | インド太平洋におけるミニラテラリズムの台頭 | |
| | ——QUADとAUKUSは中国の台湾侵攻を防げるか | 197 |
| | 青山学院大学国際政治経済学部准教授 佐竹知彦 | |
| 第9章 | 経済安全保障と経済的効率性を旨とする日本の対外経済政策 | 210 |
| | 研究会事務局 | |
| 第10章 | 日中経済依存関係の現状と今後の方向性 | |
| | ——「台湾有事」に備えて | 221 |
| | 研究会事務局 | |
| おわりに | | 233 |
| | 一般財団法人国際経済交流財団会長 豊田正和 | |
| 執筆者プロフィール | | 236 |